

砺波市ふるさと文化財 登録一覧

平成23年1月26日登録
平成29年7月31日追加
令和5年4月6日削除
令和6年2月28日削除
令和7年2月25日・7月29日・8月6日削除
令和8年7月14日削除

(■砺波市ふるさと文化財登録要綱に基づく登録)

番号	種 別	地 区	名 称	員数	備 考
1	建造物	太田	専念寺本堂	1	藤井助之丞最後の作。設計図が残る。
2		般若	安川野武士の太子堂	1	明治の宮大工藤井助之丞作。明治26年築。設計図が残る。太子像も台座に銘があり貴重。太子講も創建当時から継続されている。
3		東山見	木村産業(株)事務所	1	昭和8年築。先駆的な鉄筋コンクリートの店舗。住宅も3階建てで、欄間は当時の井波彫刻の代表格の人の作。土蔵は漆喰彫刻の第一人者竹内源造の作と云われている。
4	彫 刻	庄下	聖徳太子孝養像	1	木造、彫眼で室町時代の作。
5		栴檀山	東別所上村の不動明王石仏	1	交通の要所。地域のシンボル。
6		栴檀山	井栗谷峠の不動明王石仏	1	「明治二十七年 石献納大沢又次 森川栄次郎作」の銘がある。
7	考古資料	東野尻	苗加板碑	板碑 2石 仏2	「康暦二年」（1380年）、南北朝期の年号が入る。
8		南般若	法泉寺塔	1	鎌倉末期から南北朝期にかけての造立。月輪に薬研彫りの梵字「バン」を彫り込む。
9	歴史資料	南般若	舞句資料	1	句碑、句集、奉納額。
10	無形民俗文化財	太田	左義長	1	この地方の代表的な小正月の年中行事。
11	史 跡	出町	上水道記念碑	2	北陸三県で最も早く敷設された。
12		鷹栖	小倉の土居	1	小倉孫左衛門が天正年間に居住したと伝わる屋敷跡。土塁の痕跡が残る。
13		柳瀬	準のなわ塚碑	1	文化十一年（1814）の検地引高を喜び、検地に使った縄を埋めて塚とした。ちなみに加賀藩では、正式の検地引高としては最後の例である。
14	史 跡	太田	太田金比羅社の文学碑	1	境内には前田普羅句碑、日下部鳴鶴の揮毫碑。太田金比羅社旧相撲場には、文化年中の芭蕉句碑・雪幸句碑、隣三光庵には迎貨句碑。
15		般若	巡検使道	1	庄川右岸の旧道。江戸幕府の巡検使のルート。
16		般若	福山窯跡	1	8世紀後半に須恵器を焼成した全長12mの窯。昭和37年に発掘。出土品は市文化財。
17		東般若	東保高池遺跡	1	中世前期の土師器皿が大量に出土。
18		栴檀野	厳照寺遺跡	1	芹谷野段丘西縁にある縄文時代中期前葉の代表的集落跡。
19		栴檀山	安川城	1	別称・鬼ヶ城。般若野荘の荘官黒田太左衛門尉が悪党を従えて籠城したと伝えられる。
20		東山見	御上様塚	1	壇城主神保安芸守の室とも、この地に住んだ近藤大和の室とも伝える人の髪塚。堂内に森川栄次郎作の十一面観音の石仏（明治17年）がある。
21		東山見	金屋石採掘跡	1	幕末期から昭和30年ごろまで採掘された。
22		雄神	千代ヶ様城	1	南北朝の争乱期に桃井氏が居城。壇城の詰城と考えられる。
23		雄神	宗半塚	1	増山城最後の城主、中川宗半の塚。恩光寺（現南砺市福野）の寺跡にある。
24	天然記念物	出町	西の大ケヤキ	1	出町・砺波市街地を知り尽くした唯一の生き証人。象徴木。
25		種田	大嶋家の大杉	1	樹齢約500年。扇頂部で庄川の氾濫域をくぐり抜けてきたスギの古木。